

校名：岡山大学教育学部附属小学校

所在地：〒703-8281 岡山市中区東山二丁目13-80 電話番号：086-272-0511

記載日： H28年 5月 10日 記載者： 山本和明 記載者役職： 副校長

校風、特色について：

教育目標「人間尊重の精神を重んじ、豊かな創造力とたくましい実践力を身に付けた心身ともに健康な子どもを育成する」

めざす子ども像「やさしく、かしこく、すなおに」行動できる子ども

- ・現在及び将来のあるべき小学校教育の姿を求め続ける学校
- ・教育課題の解決のための実践的提案を行い、岡山県内外の小学校教育に貢献する学校
- ・岡山県や各市町村、各学校、研究団体等からの人的資源の提供や教育内容、方法に関する情報提供の依頼に積極的に応える学校
- ・岡山大学教育学部及び岡山大学教育学部附属学校園との連携を図り、幼小中一貫教育の実現に向けた研究と実践を行う学校
- ・意欲に富み、教育実践力を身に付けた将来の教育界を担う教員の育成に寄与する学校

校風

『自由と責任』

- ・自由を大切にし、一人一人の個性を尊ぶと同時に、自分の言動には責任をもつ。

貴校の卒業生の活躍状況について：

① 追跡調査

追跡調査は行っていない。

② 活躍状況の把握

10年毎に発行する同窓会名簿の作成を通じて、返信された卒業生についてのみ同窓会が進学先勤務先を把握している。

③ 活躍状況の具体

卒業生 18,159名 会社経営者、医師、大学研究職多数、市議、県議、国会議員を輩出

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

① 追跡調査

追跡調査は行っていない。

② 活躍状況の把握

旧職員名簿の作成により、返信された勤務経験者については異動先等を把握している。
旧職員名簿は学校で作成・管理している。

③ 状況の具体

校長、教頭等管理職や教育委員会指導主事、大学教員等に多数抜擢、採用されている。

現職では 岡山市教育長、県内校長13名、教頭14名 指導主事等8名 大学教員17名

魅力・特色のある取組、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組み

【考える力を育てることばの教育～幼小中一貫教育～】

「考える力」を変化の激しい社会を生きる子ども達にとって必要なあらゆる力、「ことば」を言語だけでなく、非言語、グラフ、表、地図等も含めた媒体と考えています。「ことば」を用いて、学びの主体者である「私」と学びの対象である「対象」、共に学び合う友達や仲間、教師である「他者」、行為者の客体としての自分である「自己」と対話する子どもの姿を、発達段階に沿って育成しています。



◎スタートアップ学習

スタートアップ学習は、幼児教育において特徴的な「遊び」の性質を兼ね備えた学習です。「遊び」の中にある、子どもの現実世界を反映している、生活経験が想起できるという「親近感」、切迫性という「必要感」が授業で感じられるように内容を工夫することで、「取り組んでみたい」「上手になりたい」と子どもが本気になれる課題をもてるようにしています。

◎セットアップ学習

セットアップ学習は、教科等がそれぞれもつ子どもの知的好奇心を導く素朴な概念・追究の視点・要素への気付き等を、学習を進めながら意図的に盛り込んでいく学習です。子どもの知的好奇心が十分に高まった状態にすることで、教科等の特性を踏まえた学習を始まりやすくしています。スタートアップ学習・セットアップ学習は単元導入を中心に全学年で取り入れ、子どもの探究的な学びを支えています。

【かけはし学習～幼稚園教育との円滑な接続のために～】

かけはし学習は、保育と授業の接続が子どもにとって無理がなく、自然に成長できることを目指した小学校1年生の学習で、創設15年を迎えます。身の回りにある環境や日々の暮らしに根ざした事物や現象に興味・関心をもち、暮らしの中から子どもが学びを生み出す「フィールド学習」と、フィールド学習でもった子どもの必要感、興味・関心をもとに、教科等の学習の意味そのものを子どもが見つかる「ステージ学習」を設定しています。



【かけはし学習で円滑な接続】

【教科別カンファレンス】

【小中教科別カンファレンス～中学校教育との一貫性のある学びのために～】

同じ教科等の担い手として子どもを系統的に育てていくことができるように、教科等別に中学校教員、大学教員が定期的に話し合いを行っています。小中それぞれの教科等の理論や、小中接続期を中心とした授業における具体的な指導内容や指導方法を、発達段階を踏まえて検討し、子どもが小中間で感じる段差の縮小を目指しています。

【実践的指導力を身に付けた教員の養成～保護者との懇談プログラム～】

教育学部の設定した教員養成カリキュラムの趣旨を生かして、より実践的指導力を身に付けた即戦力としての教員養成をめざして、3年次での実習に、「保護者との懇談」を位置づけています。子どもの成長への保護者の願いや困り感に触れたり、教師への期待を感じたりすることは、保護者

や子どもの願いに寄り添う**教師の姿勢**、**教師としての社会的使命**を、実感をもってとらえていくことにつながると考えています。



【実習生と保護者との懇談】

【読み聞かせ・清掃サポーターの活動】

【附小大好きサポーター（保護者ボランティア）の活動】

PTA活動の一環として、「読み聞かせサポーター」「清掃サポーター」「登下校サポーター」を募集し、学校の教育活動、環境整備、安全確保などの支援体制を整備してきました。本年度で8年目を迎え、毎年支援の輪が広がってきている。昨年度は、読み聞かせにのべ376名、清掃にのべ132名など、非常に多くの方が参加されました。学校評価アンケートでも、PTA活動への参加の意識が高くなっており、本校のPTA活動のスローガン「できる人が、できるときに、できることを」の趣旨に沿って、PTA活動・ボランティア活動への参加率も高くなっています。

地域における存在



【教育課程や教科の研究実践を行い、岡山県の教育研究の先導的役割を果たす学校】

- 教育研究発表会を開催し、幼小中一貫教育カリキュラムの提案をするなど、地域の課題に対応した教育研究を進め、地域貢献を果たしています。
- 個人実践発表会において、現場の教師のニーズに対応して、各教科、領域等の魅力的な授業づくりの工夫について提案し、地域貢献を進めています。その際、岡山大学教育学部の先生はもとより、指導助言や司会を岡山県や岡山市の教育委員会の指導主事や公立小学校校長、他大学の先生に依頼するなど、地域の教育関係者とも連携して取り組んでいます。
- 多くの教員が岡山県下の小学校や研究団体の要請に応じて、指導助言者、講師などの立場で研究推進に協力し、幅広く地域への貢献を進めています。
- 附属小学校を会場に、実験講習会、素材研究会、授業研究会などを外部団体や大学教員と協力して開催し、地域の教員の指導力向上に寄与しています。

【小学校教員としての理想の姿を求める教員にとって魅力的な学校】

- 「教科部」に加えて「幼小接続部会」「教科横断部会」「なでしこ活動（総合的な学習）部会」のいずれかに属して研究を進めています。
- 各教科の提案授業をはじめ、年間を通して先進的、専門的な授業に触れることができます。
- 岡山大学教育学部教員への相談、協議を通して、教科の専門的知識に関する多くの情報が得られ、授業づくりを効果的に進められます。

【地域の課題に対応できる実践的指導力を身に付けた小学校教員を養成する学校】

- 教員養成コア・カリキュラムに基づく、理論と実践のサイクリックな学びを可能にする教育実習
- 教育実践力を身に付けるための1年次から始まる積み上げ方式による教育実習
- 教職実践ポートフォリオによる反省的、創造的な教員養成

附属学校の存在意義、岡山大学教育学部附属学園の存在意義について

附属学校では絶え間なく教育研究に取り組んできています。様々な視点から教育課題の解決に向けて先進的、継続的に取り組むことができる附属学校は、それぞれの地域における教育的ニーズに応え、地域における教育研究をリードし、それを通してこの国の教育の進展に寄与してきましたし、これからもそのような働きが期待できると考えます。

岡山大学附属学校園は、**地域の教育課題に対応した教育研究**として、ここ数年にわたり、学部と連携して、今日的課題である「**幼小中の一貫教育の研究**」と、特別支援教育の主要な課題である「**主体的な社会参加をめざす研究**」を行ってきました。研究推進にあたっては、「一貫教育合同委員会」を組織し、定期的に協議を重ね、教育学部と附属学校園が協働的に研究を進めています。そして、各教科単位での教育学部教官を交えたカンファレンスを重ねるなどし、**教育学部教官の研究理論に基づいた指導助言等の支援が附属学校園の教育研究の充実を後押ししています**。また、「**岡山大学教育学部附属学校園地域運営委員会**」を設置し、地域の教育課題とその解決について、教育委員会と直接、意見交換や情報交換を行っています。さらに、教育委員会及び公立学校への貢献として、**研修会の会場校**として、また**講師を派遣**するなどして、附属学校園の役割を果たしてきました。

これらを進めるに当たり、一人一人を大切に**する学級・学年・学校の雰囲気・風土を築く**ことを授業づくりの基盤とし、学部や附属学校園間の連携を図りながら進めてきました。「**岡山大学教育学部附属学校園特別支援コーディネーターの会**」は、こういった**環境づくりの在り方**について教職員の理解を深めるとともに、個々の子どもに12年間のつながりのある支援を行うための4校園連携組織の一つです。

この組織体制は地域の学校に対して**学校園づくりのモデル**となると考えています。

地域の教育課題の解決に寄与する教育研究

グローバル時代を生きる力[21世紀型能力]をはぐくむ教育研究

